

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2017年 10月31日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	あまづつみ たかし 雨堤 崇
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8161
E-mailアドレス	sa-kusei@city.yokohama.jp

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

・スポーツ・余暇安全対策分科会の名称変更について

分科会結成当時は、分科会委員が所属する団体が実施する子どものキャンプ活動時のけが予防の取組を行っていたこともあり、分科会名に「余暇」を付けていたが、救急搬送件数の多い運動競技時のけがに特化して取り組んでいることから、「余暇」を削除し「スポーツ安全対策分科会」に変更

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

	所 属	肩書き	備考
			推進協議会長

1-3. 推進組織（SC 推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
平成28年度栄区セーフコミュニティ推進協議会	2016年4月27日	1 再認証までのスケジュールについて 2 プロモーションについて 3 平成27年度の栄区セーフコミュニティ活動について 4 その他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2016年9月30日	KYT講習会の体験他	
	2016年12月6日	「こども110番の家」の活動について他	
スポーツ安全対策	2016年6月20日	平成28年度推進協議会及び活動計画について他	
	2016年10月20日	平成28年度上半期の振り返り及び下半期予定について他	
	2017年2月23日	傷害サーベイランス分科会について他	
交通安全対策	2016年4月21日	自転車マナーアップ強化月間キャンペーンについて他	
	2016年9月7日	交通安全十五夜キャンペーンについて他	
	2016年11月15日	年末の交通事故防止街頭キャンペーンについて他	
	2017年2月2日	交通事故死ゼロを目指す日啓発キャンペーンについて他	

児童虐待予防対策	2016年5月26日 2016年7月21日 2016年9月30日 2016年11月29日 2017年1月24日 2017年3月29日	平成28年度活動について他 「赤ちゃんふれあい体験」実施にむけて他 「赤ちゃんふれあい体験」実施報告他 平成28年度啓発活動計画他 平成28年度啓発活動計画他 平成28年度啓発活動計画の結果について他	
高齢者安全対策	2016年10月12日 2017年3月15日	平成28年度取組予定他 評価指標の経過について他	
災害安全対策	2016年10月25日 2017年2月14日	再認証に向けた今後の進め方について他 災害安全対策分科会の取組状況について他	
自殺予防対策	2016年9月2日 2017年3月2日	平成28年度の自殺予防対策の取組について他 平成27年の自殺者の状況について他	
防犯対策	2017年2月16日	平成28年度取組の報告について他	
傷害サーベイランス	2016年9月13日 2017年2月2日	栄区概要及び各分野別分科会の取組について他 各分野別分科会の取組について他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 8,640千円（29年度予算額）
SCの取組の推進 7,980千円、プロモーション 660千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		(0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	例) ①〇〇プログラム			
	の安全				
	交通安全				
暴力 (DV, 虐待含)					

変更した内容について説明してください。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

--

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

--

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

	取組内容	成果
	別紙 指標3・4のとおり	

指標4 根拠に基づいた取組

4-1. 対策委員会の取組等根拠に基づいた取組の推進状況について記載してください

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

〔対策委員会名： 〕

課題1		過去1年の実績
	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	
プログラム1	①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④過去一年間の改善点	
プログラム2	① ② ③ ④	別紙 指標3・4のとおり
プログラム3	①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④過去一年間の改善点	

4-2. 過去1年間で対策委員会を新たに設置したり取組みを開始した場合、その根拠を示してください。

4-3. 過去1年間の取組みのなかで最も成功した事例を少なくとも3つあげてください。

例) その取り組みによってパートナーシップや他の組織との関係が強化された、財源をより確保できた、あるいは得られたアウトカム（成果）など

《こども安全対策分科会》

- ・分科会委員がそれぞれの活動を理解し、課題に対する取組への意見交換が活発になった。

《スポーツ安全対策分科会》

- ・ウォーキングの講習会を、けが予防の観点で分科会として初めて実施し、分科会構成団体及び参加者に、けが予防とウォーキングの関係性について実践形式で周知することができた。

《交通安全対策分科会》

- ・スクールゾーン対策において、モデル地点を設定し、設備改善の前後における通行速度の変化を測定した。その結果、平均速度及び最高速度ともに改善がみられ、同様な条件下での改善策として効果があることが確認できた。

《児童虐待予防対策分科会》

- ・さかえっ子の笑顔ひろげ隊による児童虐待防止啓発活動
地域の様々なイベント等に出向き、区民に向けた啓発活動をさかえっ子の笑顔ひろげ隊事務局メンバー（児童虐待予防対策分科会）である主任児童委員を中心に行った。

《高齢者安全対策分科会》

- ・高齢者が日常的に行うことができる転倒予防体操とリーフレットを、健康運動指導士による監修のもと開発した。転倒予防啓発の基本となるツールができたことで、体系的な啓発が可能になった。

《災害安全対策分科会》

- ・過去の震災において圧死の割合が多かったこと及び区内において家具転倒防止や備蓄等の対策を行っている人の割合が半数以下であったことから、啓発物品を用いて家具転倒防止・家屋の耐震補強、備蓄に関する啓発を充実させた。これにより、区民の意識啓発に寄与したと考えられる。

《自殺予防対策の担い手の育成》

- ・啓発活動において、実施場所を拡大（大船駅）し、近隣自治体の団体との関係ができ、同日開催することができた。また、参加者においても自殺予防対策分科会の委員が属する機関の利用者（当事者）などの参加につながった。
- ・自殺ハイリスク者支援において、区内警察、消防、医療、福祉機関の職員からなるハイリスク者支援検討部会を立ち上げ、自殺未遂者に支援のターゲットを絞り、医療、福祉、行政機関が連携して、自殺に傾く方に直接介入する体制の検討を開始できた。

《防犯対策分科会》

- ・分科会委員が、自治会町内会や地域ケアプラザなどの施設で、高齢者を対象に講座・講演を実施することで、啓発を図った。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

- ・救急搬送データ（横浜市消防局）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・交通事故統計データ（栄警察署）
【交通安全対策分科会】
 - ・人口動態調査（厚生労働省）
【高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
 - ・児童虐待の新規把握件数（横浜市こども青少年局）
【児童虐待予防対策分科会】
 - ・介護保険認定データ（横浜市健康福祉局）
【高齢者安全対策分科会】
 - ・栄区セーフコミュニティアンケート（栄区）
【スポーツ安全対策分科会、災害安全対策分科会、自殺予防対策分科会、防犯対策分科会】
 - ・学校アンケート（栄区）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
- それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

- ・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。
- ・より効果的な取組の実施につなげるため、詳細かつ専門的なデータ分析を行う必要がある。

指標6 取組のアセスメント

6-1. 過去1年間のアセスメントを行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、評価の簡単な概要、どのように評価が取組の改善等に反映されているか、などの情報を示してください。また、関連する資料があれば添付してください。・・・・・・ [添付5]

- ・各取組の活動実績及び活動指標による評価
- ・傷害サーベイランス分科会で各種分科会の取組への評価・助言

※「いいえ」の場合、その理由を述べてください

6-2. 対策委員会による取組のアセスメントについて

各対策委員会が進めている取組の評価について述べてください。

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

※「評価指標」については、報告書と一致させてください。変更した場合は、変更点がわかるように赤字で記載してください

[対策委員会：]

対策名	短期評価 (意識・知識)	中期評価 (態度・行動)	長期評価 (外傷数等状況)
	別紙 指標6のとおり		

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b)国内ネットワーク（視察受け入れ等も含む）

2016年8月 箕輪町事前指導 視察
 泉大津市本審査 視察
 日本セーフコミュニティ推進機構研修会 出席
 10月 泉大津市認証式 出席
 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議 出席
 11月 郡山市事前指導 視察
 12月 豊島区事前指導 視察
 2017年2月 箕輪町本審査 視察
 日本セーフコミュニティ推進機構定例会 出席

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

○認証取得に関連した取組

- ・セーフコミュニティの認証を取得した10月を「セーフコミュニティ月間」と定め、図書館でセーフコミュニティパネル展を実施。
- ・広報「よこはま」栄区版5月号でセーフコミュニティを特集し、各分科会の取組を紹介。また、毎月の広報「よこはま」でセーフコミュニティに関するコラムを掲載。

○研修・説明等の取組

- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供。
- ・区主催の官公署や企業が集まる会議で、セーフコミュニティの活動について情報提供。
- ・セーフコミュニティ活動の認知度、関心度を向上させるため地区の会合等に出向き、地区センターや区民活動支援協会などで出前講座を実施。

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

- ・再認証に向けた評価指標の見直し
平成30年度の再認証に向け、評価指標及び取組の見直しを実施。実態に即したものと修正を実施した。
- ・再認証に向けたプレゼンテーション資料の修正
再認証に向けて前年度に作成したプレゼンテーション資料について、指標の見直し結果及びサーベイランス分科会での評価を踏まえて修正した。
- ・プロモーション活動
再認証に向けてセーフコミュニティの認知度を高め、参加の輪をさらに広げるため、区制30周年記念の広報とタイアップした広報を実施。タウン誌への活動紹介記事の掲載や、新たな啓発グッズの作成等を実施した。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

- ・セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、栄区で行われている自治会・町内会を中心とした活発な地域活動を、関係機関や行政と一体感を持って進めることができている。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

- 添付1：推進協議会メンバーのリスト
- 添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」
- 添付3：対策委員会メンバーのリスト
- 添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」
- 添付5：アセスメントに関する資料
- 添付6：市民へのフィードバックに関する資料
- 資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等
- 資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。